



大田区教育研究推進校としての研究 生徒一人一人が「学びのエキスパート」を目指す授業づくり
 ・心の安定をベースに、アセスメントと脳科学(MI)を活用した授業実践(個に焦点を当てた指導)を積み重ねていく。

本校の授業改善に向けた視点				
指導内容・指導方法の工夫	教育課程編成上の工夫	校内における研究や研修の工夫	評価活動の工夫	家庭や地域社会との連帯や工夫
* 学習効果測定の結果分析を基に「学習カルテを活用した学習カウンセリング」を充実させていく。 * 電子黒板・タブレット等、ICT機器の活用を図り、魅力ある授業、分かる授業の実施に向けて工夫・改善を行う。	* 数学・英語においては、習熟度別指導・習熟度を考慮した少人数指導を実施し、スモールステップできめ細かに指導を進めていく。 * 放課後・土曜日・夏季休業日に補習教室を行い、基礎学力の定着を図る。	* 「ICT機器の活用」と「主体的対話的な深い学び」に関わる校内研修を進めていく。 * 学校集団調査(hyper-QU)をはじめとして、様々な調査の結果を分析し、授業改善に結び付けていく。	* 各教科で、評価についての研究を深め、評価の精度を高めていく。 * 生徒及び保護者への説明責任(妥当性・客観性)を十分に果たすことのできる評価とするために、評価活動の工夫・改善に努めていく。	* 家庭学習の充実を図るため、補習等で自主的に学習に取り組む姿勢を確立すると共に、保護者会等で家庭への協力を仰いでいく。 * 学校地域支援本部との連携を深め、効果的な人材支援を活用し教育活動を充実させる。